



購読申込先

NOSA | 宮城
仙台市青葉区上杉
1丁目8番地10号
〒980-0011
電話022(225)6701
http://www.nosamiyagi.or.jp/



水稲・長ネギ栽培の複合経営
に取り組み、規模を拡大して農
業で生計を立てられるようにし
たいです。夏場に収穫できる長
ネギ栽培にも挑戦したいです。
◆登米市米山町◆美家の経営
内容▶水稲10畝(受託2畝含
む)、自家消費用野菜栽培少々

矢内 匡さん 20歳 水田経営学部

大学に進学した理由と学んだことは、小さい頃から両親が農業をしている姿を見て育ち、農業の道に進みたいと思い進学しました。

大学では、水田経営学部で水稲を中心に、栽培技術や経営管理などを学びました。2年次には長ネギについて学びたいと思、「團複合化」コースを選択。「長ネギの施肥方法の違い」における収量や作業時間の比較」をテーマに研究しました。転作田に二つの試験区を設けて有機肥料や化学肥料、肥効調節剤肥料などを用いた場合の生育や収量、収益性の比較をし、多

くの知識と経験を得ました。研究用に10畝もの試験区が用意され、栽培を学ぶことができて良かったです。卒業後は就職し、長ネギ栽培に取り組みたいです。長ネギを栽培する先進農家に1年は通い、技術を学びながら、転作田を利用して自分で手掛ける面積の上限30畝を目指したいです。将来について農業は小さいころから憧れていた憧れの職



農業は幼いころからの夢。農業で生計を立てたい

業ですが、深く学べば学ぶほど大変な仕事だと思います。

後継者不足が深刻な中、農業を生業にする決意をした若者たちがいる。2年間の農業大学で生活で得た知識と経験を生かし、新しく農業に携わろうとしている学生4人に、これからの目標を話してもらった。

門傳 菜々子さん 20歳 アグリビジネス学部

大学に進学した理由と学んだことは、農作物の栽培から加工、販売までを学ぶべき、農業経営を専門的に学ぶことが多く、これに魅力を感じて進学しました。大学では、農家の経営取支についてシミュレーションする授業があり、農業経営の厳しさや難しさを学びました。卒業論文は「米麹と酒粕の甘酒で所得向上を目指す」というテーマで甘酒を試作し、販売実習のときを試飲してもらい、お客様の声を直接聞くことができて良かったです。生産者であり経営者という立場を経験することができ、自信につながりました。

安全・安心な農産物を責任を持って提供したい



3月から1年間、海外研修でスイスに行きます。スイスは国土が小さくて複合経営農家が多いです。農業環境が日本に近く、さらに先進的だと思います。海外研修後は美家で野菜栽培をス

ターさせたいと思っています。経験を生かしたいです。将来について野菜を有機栽培で少量多品目を手掛けたいです。付加価値のある安全・安心な農産物を責任を持って提供していきたいです。◆美家市 迫◆美家の経営内容▶水稲10畝、秋作菜35畝(受託含む)、鉄骨ハウス15坪



遠藤 瑞稀さん 21歳 園芸学部

大学に進学した理由と学んだことは、農作業する父の姿を見て中学生のころには農業をしたいと思、父の母校でもある大学に進学しました。大学では園芸・園芸総合研究所と隣り合い、果樹栽培の専



兄弟で力を合わせ、農業で地域振興を図りたい

門的な技術を学ぶことができ、1年次には、1カ月ほど白石市のリンゴ農家を訪問し、栽培技術や経営の実態を学びました。2年次では、モモ栽培での摘果作業の効果卒業論文のデー

マにして取り組みました。摘果作業をしっかりと行うことで摘果作業の時間が短縮され、収穫したモモは品質も良い状態でした。今後にかしていきたいと思います。卒業後は大学校に入学したときから農業を意識してました。卒業後は、父とでもリンゴとモモの栽培に取り組みます。将来について生産者として、消費者に「おいしく」言われる農産物を提供できるように、真摯に農業に取り組んでいきたいです。現在、弟がアグリビジネス学部で加工技術を学んでおり、父と私が果樹栽培をメインに手掛け、弟がジュースやジャムといった加工品の製造に取り組んでいきたいです。当農家を拡大し、兄弟で力を合わせて地域を盛り上げていきたいです。◆登米市米山町◆美家の経営内容▶リンゴ50畝、モモ20畝



高橋 啓さん 20歳 畜産学部

大学に進学した理由と学んだことは、私の父は非農家ですが、祖父の家が和牛の繁殖農家で、小学生のころから牛の世話を手伝っていました。現在は、祖母が父と祖父の助けを借りて飼養し

ていますが、いずれは自分が和牛繁殖経営を継ぎたいと思い、進学しました。

和牛の繁殖・肥育一貫経営をしている農家で1年ほど畜産経営について学んだ後、祖父の経営を継ぐことにしています。将来について農家は一人一人が経営者なので、農業経営がうまくいくかどうかは自分次第です。和牛繁殖経営は生き物が相手で大変というイメージがありますが、その分やりがいがあります。祖父の所有する繁殖和牛の入れ替えを徐々に進めるほか、飼養頭数を増やして規模を拡大していきたいです。また、自分でしっかりと管理できるように、訓練師や人工授精師などの必要な資格取得したいです。◆登米市迫町◆祖父の経営内容▶黒毛和牛親牛30頭

徐々に規模を拡大していき、畜産経営を軌道に乗せたい

希望を胸に 農業の道へ

今春卒業する農大生たち